

令和元年度上期事業実績（案）

1 活動の概要

令和元年産米の作付動向について、県産米の需給動向等を把握し、産地に情報発信するとともに、自らの生産目標や需要と乖離が大きい地域協議会に対しては、需要のある非主食用米などの作付誘導を働きかけるため、意見交換会を行った。

また、加工用米等取組計画認定申請書の追加・変更期間等の延長及び再延長に伴い、地域協議会と連携し、認定方針作成者の需要の裏付けの精査を行うとともに、裏付けのない米については需要のある非主食用米への用途転換を促した。

2 活動報告

(1) 需要に応じた米生産と水田フル活用の推進

需要に応じた米生産に向け、農業者が経営判断に資するための確かな情報提供を行うとともに、水田フル活用による所得確保に向け、産地交付金の県枠を設定し、多収穫及び複数年契約の取組を推進

時 期	内 容
4月～9月	○ 令和元年産米の作付状況の把握
5月1日	○ 米の需給状況等に係る情報提供 （「令和元年産米の需給見通し」広告の新潟日報への掲載） （内容）需要の裏付けのない主食用米の非主食用米への転換促進
4月25日～ 5月17日	○ 地域協議会との意見交換 （内容）主食用米が前年度より10%以上増加が見込まれる地域協議会や、非主食用米が前年産より大幅に減少し、かつ、主食用米の増加が見込まれる地域協議会を選定基準とし、新発田市、阿賀野市、新潟市（北区、亀田郷、南区、秋葉区、西区、西蒲区）、五泉市、長岡市の10協議会で意見交換を実施
5月30日～ 6月10日	○ 地域農業再生協議会と連携し、認定方針作成者への主食用米需要等の精査・用途転換・計画を作成依頼
6月4日	○ 令和元年度「飼料用米多収日本一」への参加の推進
6月11日～ 6月20日	○ 地域協議会・認定方針作成者との意見交換 （内容）地域農業再生協議会と連携し、認定方針作成者の用途転換計画の考え方等について意見交換

(2) 適正生産に向けた対応

加工用米取組計画認定申請書の追加・変更期間等が延長及び再延長されたことから、改めて主食用米の需要の精査等を実施

時 期	内 容
6月26日 7月1日	○ 令和元年産新潟米の適正生産の推進 地域協議会と連携し、方針作成者等に対し、主食用米の需要の精査及び需要の裏付けのない米の用途変更等の対応について助言
8月1日	○ 作柄を見通した令和元年産米における需要に応じた生産対策の推進 地域協議会と連携し、今後の作況等を考慮し、主食用米からの転換を推進

(3) 会議等の開催

時 期	内 容
4月17日	○ 新潟県農業再生協議会 (内容) 本年産米の作付動向についての認識の共有及び今後の対応の確認
5月28日	○ 通常総会 (内容) 30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算等の検討、2019年度県水田フル活用ビジョン(案)の検討

(4) 内部監査の実施

時 期	内 容
10月24日	○ 内部監査 元年度上期の事業実績及び資金管理状況の監査